

【件名】	滝川沢砂防工事（1号堰堤工その4）	【事務所名】	大島支庁	
【工事場所】	東京都大島町野増地内から差木地内まで	【受注者名】	白木建設株式会社	
【工期】	令和4年6月30日から令和5年7月7日まで	【主たる技術者名】	白木 恵悟	

【工事概要】 コンクリート堰堤工 L=47.5m

- ・本堤砂防コンクリート V=2,765m³
- ・前庭保護工砂防コンクリート V=561m³
- ・掘削工 V=5,950m³

【表彰理由】（※発注者側評価）

・本工事場所は上流にある三つの沢の合流点となっているため、少量の降雨でも上流側から多量の土砂等が流入する傾向があり、当該土砂等に配慮しながら施工を行う必要がある難易度が高い現場だった。監理技術者は降雨等を踏まえ自主的に泥溜め施設を設置する等創意工夫し工事を進め、無事故で工事を完了させた。

・令和4年度に発生した台風8号の降雨により、上流側から土砂が流入したが、受注者は早急に現場調査を行い、短期間で対応案を検討し、工事を再開した。さらに、その際の降雨により下流側にある農業用水取水施設にも土砂が流入したが、当該施設管理者と迅速に工程調整を行い、施設の運営に支障を及ぼさないよう土砂撤去工事等を速やかに行った。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

本工事施工箇所は、降雨の影響を大変受けやすいので、土砂流入等を未然に防ぐ為に必要な措置を講じるなどの降雨対策や、降雨に伴い作業不能日が多々発生しましたので、1日ごとに作業手順の見直しや並行作業の検討など、工程管理には大変重きを置きました。

◇ 特に工夫した点

本工事では、降雨のたびに土砂が流出する作業用道路を協議の上、コンクリート舗装へ変更し排水路を確保したり、仮排水と管渠を直接つなぐ事で沢からの水を、直接下流側に流すことで作業場の安全確保など、工程にも関わる安全対策に、日々策をこらしました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

大雨が過ぎた後に巡回を行った際、事前対策を行ったおかげで、土砂災害の被害を最小限に食い止める事を確認出来た時や、天候に左右されやすい状況の中、作業手順等を常に考察し、日々完成に向かって様変わりしていく現場をみると感慨深いものがありました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

最近では労働環境等の問題点なども改善されてきている中で、新しい技術と知識を持ち、幼少時からデジタルに触れてきたキャッチアップ力に優れた若い人材の皆様が、この業界をより一層盛り立てていき、より良い未来を形成していってくれと心から思います。



仮排水全体



作業用道路Co舗装



掘削部大型土のう設置



仮排水を管渠へ接合